

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん びわこげいじゅつぶんかざいだん 公益財団法人 びわ湖芸術文化財団		
代表者職・氏名	理事長 山中 隆		
制作団体所在地	〒 520-0806		
	滋賀県大津市打出浜15-1		
電話番号	077-523-7133	FAX番号	077-523-7147
ふりがな 公演団体名	びわこほーるせいがくあんさんぶる びわ湖ホール声楽アンサンブル		
代表者職・氏名	監修・びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典		
公演団体所在地	〒 520-0806		
	滋賀県大津市打出浜15-1		
制作団体 設立年月	1996年4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長:山中 隆 常務理事:石田政則 業務担当理事:竹村憲男 理事:小寄善通、大道良夫、佐藤健司、中谷 満、仲間裕子、西井清春、藤野一夫、本田啓子、森西真弓、 監事:里西 薫、田端克行 村田和彦		理事長 1人 県派遣職員 6人 専任職員 43人 有期雇用職員 39人 声楽アンサンブル※ 14人 合計 103人 ※加入条件:音楽大学卒業以上または同等の能力を有する者で満30歳以下の者
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	有田 淳
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	石田政則

<p>制作団体沿革</p>	<p>1996年4月 財団法人びわ湖ホール設立 1998年3月 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール竣工、同年9月開館 2006年4月 指定管理者指定(5年間) 2011年4月 公益財団法人に移行、指定管理者指定(2期目、5年間) 2016年4月 指定管理者指定(3期目、5年間) 2017年4月 公益財団法人びわ湖芸術文化財団に名称変更(財団統合) 2021年4月 指定管理者指定(4期目、5年間)</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>◆オペラ「泣いた赤おに」 浜田廣介原作、松井和彦作曲 子供向けオペラ「泣いた赤おに」をびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがソリストを務めて上演しています。 2009年度から2021年度まで県内ホール(学校鑑賞公演)、学校等にて48公演上演。</p> <p>◆学校巡回公演(音楽鑑賞) 県内の学校に出かけて、約1時間の本格的な音楽公演を体育館等で行っています。 2001年度から2021年度までのべ191校51,152名の児童が鑑賞。</p> <p>◆ふれあい音楽教室(小学校中学年～高学年) 声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニストが小学校の音楽の授業に出かけ、ミニコンサートや合唱指導を行います。 2001年度から2020年度までのべ258校17,831名の児童が鑑賞。</p> <p>◆びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！ 県内の学校を対象としたオーケストラ公演を実施し、生の音楽と劇場の魅力を伝えます。オーケストラは、日本を代表する楽団である京都市交響楽団の協力を得ています。 2011年度から2021年度までのべ933校69,336名の児童が鑑賞。</p> <p>このほか、学校からの依頼に応じて、芸術鑑賞公演を企画・実施しています。</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>上記「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」にて特別支援学校の参加を受け入れています。 2011年度から2021年度までのべ72校2,681名が鑑賞。</p> <p>◆ホスピタルコンサート 病院、福祉施設を会場として演奏会等を行い、病気療養中など様々な理由で生の音楽にふれる機会の少ない方に心穏やかな時間を過ごしていただく機会を提供しています。 2016年度から2020年度までのべ14施設1,336名が鑑賞。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>無</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p> <p>有</p> <p>https://youtu.be/MzO_XHVsrQA</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>https://youtu.be/MzO_XHVsrQA</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 びわ湖ホール声楽アンサンブル】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	子供向けオペラ「泣いた赤おに」					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オペラ「泣いた赤おに」(全1幕/日本語上演) 原作:浜田廣介 作曲:松井和彦 演出:中村敬一 公演時間(約70分)					
著作権	<input checked="" type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>【あらすじ】 人間と仲良くなりたい赤おには、ある日家の前に立て札を立てました。「ココロノヤサシイ オノノウチデス ドナタデモ オイデクダサイ」。けれども村の人たちは警戒して誰も近寄ろうとはしません。それを聞いた親友の青おにが考えました。「僕が村で暴れるから、僕をおさえて頭をぼかぼかなぐればいい。そうすれば人間たちは君を信用するさ」。赤おには、ためらいながらも青おにの言うとおりにしました。すると、安心した村人たちは競って赤おにの家に遊びに来るようになりました。 楽しい毎日を送る赤おにでしたが、それ以来青おには一度も訪ねてきません。心配して訪ねていった赤おには、誰もいない青おにの家の戸口に張り紙を見つけました。「キミト ツキアイヲ ツヅケテ イケバ、ニンゲンハ キミヲ ウタガウ コトガ ナイトモ カギリマゼン」。そして、こう締めくくられていました。「ドコマデモ キミノ友ダチ 青オニ」。赤おには涙をながして泣きました。</p> <p>【見どころ】 オペラ「泣いた赤おに」は、浜田廣介の児童文学を原作に、松井和彦が構成・作曲した子供向けオペラです。よく知られた原作に親しみやすい音楽が合わり、物語の流れや登場人物の心情が児童にもわかりやすく効果的に表現されています。登場人物のキャラクターもはっきりと描き分けられ、物語の背景を理解する一助となっています。</p>					
演目選択理由	<p>「泣いた赤おに」は、小学校の道徳の授業教材として多く使用されるほか、国語の教科書にも用いられており、児童の心の成長の助けとなる作品です。登場人物の関わり合い方や行動、その背景について様々な立場の視点から考えることができ、身近にあり得る偏見や差別などの人権問題をはじめ、真の友情、真の融和とは何かを考えるきっかけを与えてくれます。児童の成長過程で、相手の立場に立って考え、気持ちを理解し、お互いを思いやることの大切さを感じ取ることができます。</p> <p>また、オペラは舞台芸術の中でも総合舞台芸術と表現されます。音楽に加え、演劇(演出や演技)、文学(詩的な歌詞)、舞台装置や衣裳などの美術、照明といった様々な要素が絶妙に組み合わせられて一つの舞台を創り上げ、観る者の感性に訴えかけます。耳から音楽を楽しむだけでなく、目で見て頭で考えて、より豊かに心で感じることが出来ます。</p> <p>びわ湖ホールでは、これまでオペラ「泣いた赤おに」をオペラ入門者や親子向けの一般公演だけでなく、滋賀県内外で県・市町教育委員会と協力した学校鑑賞公演として実施・上演してきました。プロのオペラ歌手である劇場専属の声楽アンサンブルがキャストを務め、びわ湖ホールで数々のオペラプロダクションを運営してきたスタッフが舞台を創りあげ、芸術性の高い優れた実演芸術を提供します。</p> <p>このように、教育現場のニーズに応えられる作品であり、児童の鑑賞に相応しい芸術性の高いプロダクションとして創り上げることで、総合芸術としてのオペラを気軽に楽しみながら感性を磨き、学習に役立てられるものと考えます。</p>					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	物語の途中で登場人物の呼びかけにより、簡単な手遊び歌を全員で行います。客席にしながら参加することができ、物語の一員として話のなかに入り込めます。舞台上と客席にいる全員で一緒に行くことで、生の舞台の一体感を味わうこともできます。手遊び歌は事前のワークショップなどで練習します。					
出演者	<p>指揮：大川修司(びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者) 出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル(キャスト7人)、ピアニスト 2人(1台4手の連弾)、打楽器奏者 1人</p> <p>びわ湖ホール声楽アンサンブル 監修：沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 名誉指揮者：田中信昭 桂冠指揮者：本山秀毅 指揮者：大川修司 【専属メンバー】 熊谷綾乃、山岸裕梨、山田知加、脇阪法子、阿部奈緒、上木愛季、坂田日生、藤居知佳子、有本康人、谷口耕平、宮城朝陽、市川敏雅、平欣史、美代開太 【ソロ登録メンバー】 飯嶋幸子、岩川亮子、上田祥子、江藤美保、大川 蘭、大垣加代子、基村昌代、熊本裕子、栗原未和、黒澤明子、黒田恵美、小林あすき、小林久美子、佐藤路子、嶋田友里恵、清水芳子、白根亜紀、鈴木 望、田島茂代、田中千佳子、谷村由美子、中嶋康子、林 育子、日比直美、平尾 悠、藤村江奈奈、船越亜弥、本田華奈子、益田早織、松下美奈子、溝越美詩、森 季子、山際さき佳、吉川秋穂、渡辺玲美、相沢 創、青柳貴夫、内山建人、梅原光洋、角地正範、川野貴之、菊田隼平、河野知久、五島真澄、島影聖人、清水徹太郎、下岡輝永、砂場拓也、竹内公一、竹内直紀、津國直樹、葛谷明夫、林 隆史、坂東達也、古屋彰久、増田貴寛、松本 晃、松森 治、的場正剛、宮城島 康、迎肇聡、安田旺司、山本哲也、山本康寛</p>					
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者： 11 名</p> <p>スタッフ： 13 名</p> <p>合計： 24 名</p>		<p>機材等 運搬方法</p>		<p>積載量： 3 t</p> <p>車 長： 7 m</p> <p>台 数： 1 台</p>	

【公演団体名 **びわ湖ホール声楽アンサンブル** 】

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時45分	9時～12時30分	13時30分～14時40分	なし	15時～16時	16時15分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	クラス毎 ～ 100名程度まで(会場規模により応相談)				
	本公演	1,000名程度までの会場規模が適当				
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>◆ワークショップ「ふれあい音楽教室～泣いた赤おに～」 歌手2人とピアニスト1人が学校に赴き、「歌手ってどんな仕事?」「オペラってなに?」「泣いた赤おにってなに?」の3つの「?」を柱にミニコンサートなどの実演を交えて、わかりやすい説明を行います。また、物語の中で子供たちが参加する手遊び歌の事前指導を行い、公演当日への期待を膨らませます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノのある部屋(音楽室等)で実施、電子ピアノでも可 ・1回1時間程度 ・1回100名程度まで ・1日3回まで実施可能 					
ワークショップ 実施形態の意図	オペラや作品について事前に学ぶことで、学習効果を高めることが期待できます。また、本公演に出演するキャストが出向き、子供たちと直接触れ合うことで、マイクを使わず上演するオペラや歌手を身近に感じ、子供たちの公演への興味を駆り立て、舞台により一層親しみを持ってもらえると考えます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	これまでに特別支援学校に向けて積極的に事業展開をしてきた実績があり、各学校の実情に合わせて柔軟に対応します。ワークショップについては、基本的には同じ内容で実施可能ですが、特別な配慮や事情がある児童・生徒に合わせて内容を提案するなど、学校側と相談します。聴覚障害のある児童・生徒にも視覚的に楽しめる工夫を凝らすなど、有意義なワークショップとなるよう努めます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					